

教育は最も好適に行はれ従來の困難を除去せらるゝに至るではあるまいか、今日直に氏の如くすることは諸種の事情少くとも經濟上の關係より出來ぬ點もあるが將來に於ける幼稚園は是非小學校の豫備教育たる實を十分に發揚せしめて貰ひたいのである（尤も氏の問題は學齡問題とも關係があれ

ば此の議論は自然學齡問題に及ばねばならぬが長くなるからそれは略して置く）  
前段述べられる如く幼稚園をして小學教育の豫備を適法に行ふところとなすと同時に幼稚園教育に従事する保姆の資格待遇の如きは決して今迄のまゝにして置く事は出來ぬと思ふ、少くとも小學校教員と同一に取扱はるゝ様に至るのを望みて止まぬのである、乍去幼稚園教育が現在よりはより多く國民教育の系統に入り國家問題に密接するに至らねば保姆の資格待遇乃至養成の問題等は解決出來ぬかも知れぬ余輩は世の幼稚園教育に従事する識者が更に一段の研究を進められ幼稚園問題を研究せられ十分の効果を發揚する事に努力せられむことを切望するのである、

### 幼稚園に於ける 幼兒保育の實際

某 女 史

#### 一、幼兒の數

常組幼兒の總數は四拾三名にして内男兒は貳拾一名女兒は貳拾二名なりしか第一學期に於て男兒に一名第三學期に至りて女兒に一名半途退園せり

#### 一、保育課目並に各目時間配當

保育の課目は専ら本園所定の保育要項によりて其手技の種類如きも亦之によりたり。各課目時間の配當は左の標準による而して始業とその終りの時間とは別に定められたる本園の規定に従ひてし各課目時間の長短は時によりて一定せず



花賣。

すことも巧ならず保姆の補助によりて探し得る幼児も少なからざりしが第二學期の終より三學期に至りては甚で機敏となり巧となり著しく興味を有する遊びとなりたり而して専ら室内の或場所にかくす方の仕方を喜ぶに至れり。

衆兒圓形をなして手をつなぎ之等は何れも買手にして賣手は只一人もしくは二人花を持って圓内にあり賣手唱歌する間は買手の衆兒左又は右にめぐりつゝあり其唱歌終れば買手の唱歌となりて賣手は代りて内の内側を廻り歩くなり而して其唱歌終れば買手の心々にて他兒へ其花を賣り渡し代りて又其遊びはくり返さるゝなり、最初の方法は賣手も買手も唱歌する時同時に歩むことにしたりしが一方の幼児は全く其間靜にさかざる可らず而して賣手の聲の少なき場所等往々にして混雜を來すことあるを以て後には前記の如く改めたるなり靜かに美はしき遊びにして殊に女兒は之を喜ぶ、又其賣るべき花の種類を幼児の注意になさしめ成べく同一の花を賣らざることし唱歌の文句をも之に適はしむる時は男兒の方寧ろ興味を有するものとなりて一般に飽くことを知らざるに至る而して此方法は第三學期に至りて殊に成功したるなり。

時計

時計の練習となるは勿論数の練習となり又連結して話方の遊ともなさしむるを以て常に用ひたり此遊に於て常に失敗を招き混雜を來したる事柄は時計の音を數ふるに幼児が聲を出して數ふること數へ行く内に自ら調子早くなりて未だならざる音を數へ加ふることある等によりて數を誤り又時計をさし終りたる後に衆兒が針となりたる幼児に向ひて「何時？」と聞くべきを打忘れ一齊に其時を言ひ出すが如き場合なり此の如く此遊びに於ては幼児に數ふことを

花

最も興がりてなすを以て時には保母が「何時？」と言ふこと、し幼児をして一齊に言はしむるも面白からんと後には而したることもありたり

輪

從來此遊嬉の第二の歌「一輪二輪三りん四りん」と云ふ所に花辨を一ヒラニヒラと作り行く方法によりし様なりしが形詞に違ひてよろしからずと考へられたれば幼児を數個の小圓に分ちて其意義を明かにすること、せり

從來他の組の幼児には餘りよろこばれざりしものなるが如くなりしも此組のものには割合に喜ばれたり又其の大人がなしては餘り間の扱けたる感を起さるゝ程動作と動作との間に餘裕あることか幼児には却りて都合よろしく従いて美しく其目的を達し得るなり。

元來此種の遊嬉は此組の幼児の性質に適したるものとは思はれざれども最初に此遊びを教へ居たる時析柄寫真師の來りてそを寫眞したるゝとわり幼児等は一生懸命となりて早く美

又行進

興味をもつこと多く仕方誠に功なり  
一列より二列となり四列となり更に二列となり一列となりて終りとする簡單なる形式によるものは早くよりなしたるが二列の間を他の二列が又行するものは第二學期の末よりなさしめたり而して其列の變化は悉く樂器の合圖によりて幼児自身になさしめたり

瀛車

全組幼児を二分して一方は中をとりて長さ隧道をなし他方は瀛車となりて其間を相共に唱歌しつゝ行くなり而して瀛車とトンネルとは交替に之をなさしむ  
トンネルに來らしむる時の方法に二様あり左右兩兒共右手をつなぎてすると一方は右手一方は左手にて進行中相携へたる手を其儘に舉げてなさしむるとなり前者は廣きトンネルを

作るに便なれども困難なる仕方なりしを以て前學年に用ひたる時は後者により居たり本學年に至りてより前者に改めたり

木曾山路

此遊は幼兒にとりては困難なり手をうちて進みたる人が更に木となる時其居並ぶ位置が進行中と全く前後する道理なるを幼兒は合點しがたく其位置を争ふが如き形となりて混雜を來し又よし其混雜を避け得るとしても圓形に行進を續けざる可からざることは大人としてもなか／＼むづかしき事なればまして幼兒には出來様もなく只木となりしものが漸次手を拍ちて進行する形となり或場所に至りて更に一齊に木となると云ふ形式によりてのみ時々用ひたることあり

左右の遊

最初は左右を誤るものも少からざりしが程なくして之を解し得るに至り興ある遊ひとなりたり第三學期に入りてより教へたり。

鎖

左草の遊によりて左右の觀念は餘程研かとなりしが如く最初よりそれを誤りたるものはなかりしも其右手を取りつゝある場合には相手の左側より進行し左手を取る場合には其右側より進行すべきものなることを合得しがたく其反對に出でんとし又已に進で第二のものとしてとりながら尙は第一の者との手をも放さず引つ張り合の姿となるが如きことあり手の左右と云ふことにのみ心を奪はれて歩調は更に整はず或は間隔の遠き場合を生ずれば自ら進むことを忘れて只手を延して相手のものに早く來よ／＼と促すのみなることあり此の如くにして此遊は幼兒としては難き方なりされど第三學期の終に於てしたるを以て幼兒はむしろ其困難なるを喜ぶ風ありて第二回目に練習したる時の如きはも一度／＼と幼兒の方より進みて之を練習し幾度の失敗にも屈することなく殆どそのみに三十分餘を費したることありき而して此遊は幼兒が得意なるものの一

つとなりたり  
以上は本學年に於て新に加へたるものなるが  
前學年より引つゝきなしたるものにて幼兒の  
特に好めるものは左の如し

猫と鼠

而して此二者は男女兒に通じて今も全遊嬉中の  
最も興味あるものとなり居るなり  
行進のこと。

(2) 唱歌  
樂器に合せて行進することは幼兒の好む所に  
して又常に練習をなしたり歩調を正確になす  
ことを理想として前學者より引つゝきな練習し  
たりしが成べく歩行を爪先にてし輕妙にすべ  
きことを附加して理想としたり流車の歌電車  
唱歌など歌はしめながらすることも往々變へ  
たり  
特に唱歌の時間としては少なけれども遊戯に  
談話に又手技に併用する場合甚だ多くして幼  
兒も亦甚だ之を喜びたり又

音程の練習を重んじ毎日必ず機會を作りてな  
さしめたり又も熟練して三度四度五度の音程  
をも樂器にて示さばよく聞きわけて直ちに唱  
へ得る様になりたり

幼兒のことゝて興に乗じては却りて聲もあら  
しく汚なき發聲をなすこともあれども概  
して耳の發達はよろしく

汚なき聲と美しき聲  
重き聲と輕き聲

強き聲とやさしき聲  
早き調子と遅き調子  
重き調子と輕き調子

と云ふ類は大凡を解するものゝ如く保母の注  
意によりて改むることを知れり  
本學年に於て主として練習したる唱歌につき  
て記すこと左の如し

ちらくはろく  
曲も歌詞も美はしければにや幼兒も此歌は特  
に靜かに美はしく歌ふ様なり何時の程にか幼  
兒は此唱歌には兩手にて櫻の花のちらくは

ろ／＼と散り來る様を擬して合すことを始め

たり

第二の歌の「やよこの櫻の」のををと誤り

「あすまで遊ばん」を「あそばであそばん」

と歌ひ誤ることありて矯正に困難なりき

ひばりは歌ひ

之もよき歌にて幼兒の好むものなり「こゝに

はよめ菜そこにはつくし」に於てこゝとそこ

とを誤りて常に注意せり

花　　賣

此歌も最初に十分注意せざれば最初のと第二

のものを歌詞を混同して歌ふ傾ありきされど春

秋共に花の種類に併せて歌詞を變化すること

幼兒には甚た興ある業なるが如し

朝　　顔

此唱歌は夏季に限られて其他の折には幼兒の

進みて歌ひたるを聞かず

お月様

菊

菊は女兒の殊に喜ぶ唱歌なり此歌を教へたる

當時の如き好きな歌をと云へば女兒は口を揃へて菊と云ひし様なり

猿蟹合戦

詞の串近なると談話の材料に適合したるとに

て其詞の記憶は殊に容易なりし様に一般に

好みて歌ふされどやゝもすれば亂雑なる調子

に傾き易き歌なり

お正月

幼兒がお正月を待わふる情より十二月中最も

盛に歌はれたる唱歌なり調子も歌詞も適當な

るものと思はれたり

大寒ふさむ

四つ六つ七つの數を誤りて時々注意を要した

り冬期には自由遊の間にもよく幼兒用に歌は

れたる様なり

紀元節

みが、ずば

君がよ

師の恩

以上は何れも其儀式の折々に練習したるが意

味は只大体の説明にとりてなさしめたり  
此他に保育要項によらずして練習し又幼兒の  
只聞覚えのまゝなるものを多少訂正して歌は  
しめたるは左の如し

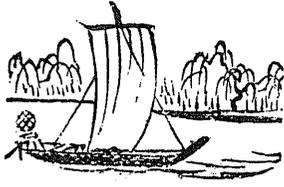
電車唱歌

牛若丸

一寸法師

アルハベツト歌  
我等の園生(春秋冬)

ひなまつり  
戦友



### 妻方の方針

某 女

女は常に子供の爲には犠牲となりて、家庭の教育  
従事すべきものであります。子供は両親の子であ  
ると同時に、一方より見れば國家より預りたるも  
のでありますから、家庭にあつて子供を教育する  
は國家に對する婦人の義務であると云はねばなり  
ません。  
子供を教育する方針に就て種々の書物や雜誌に色  
々の事がありまして、妾共は大に迷つて居ります  
因てあまり差出がましくあります、妾の経験し  
たる事どもを左に一應申述べますから、何卒存分  
の御批評を願ひます。  
先づ第一に起る問項は、緩にすべきか、嚴にすべ  
きかと申すことであります、從來妾共の成長する  
時代は非常に嚴格なる家庭に育ち、何事にも命之  
れに従ふといふ風にて只びく／＼いたして居りま  
した、從て其餘力は必らず他方面に表はれ、まて